

2025年度

法 人 事 業 計 画 書 ~~＝(案)＝~~

社会福祉法人 からし種の会

1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者の人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安心で安全の快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

2. 法人の経営方針

キリストの愛と自由の精神に基づき、ご利用者一人一人のその人らしい自立した暮らしを継続支援していくことを目的に、社会福祉事業と公益事業を適正かつ効果的に経営していく。そのために、次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者・ご家族の意向を尊重し、自由な暮らしを継続支援する。
- 2 人材の確保・人材育成をもって、職場環境整備の充実を図る。
- 3 財政基盤の強化を図る。
- 4 地域と連携協力し、地域社会に貢献する。
- 5 キリストの愛と自由の精神に基づいて事業を経営する。

3 からし種の会が経営している各事業の安定化と質の向上

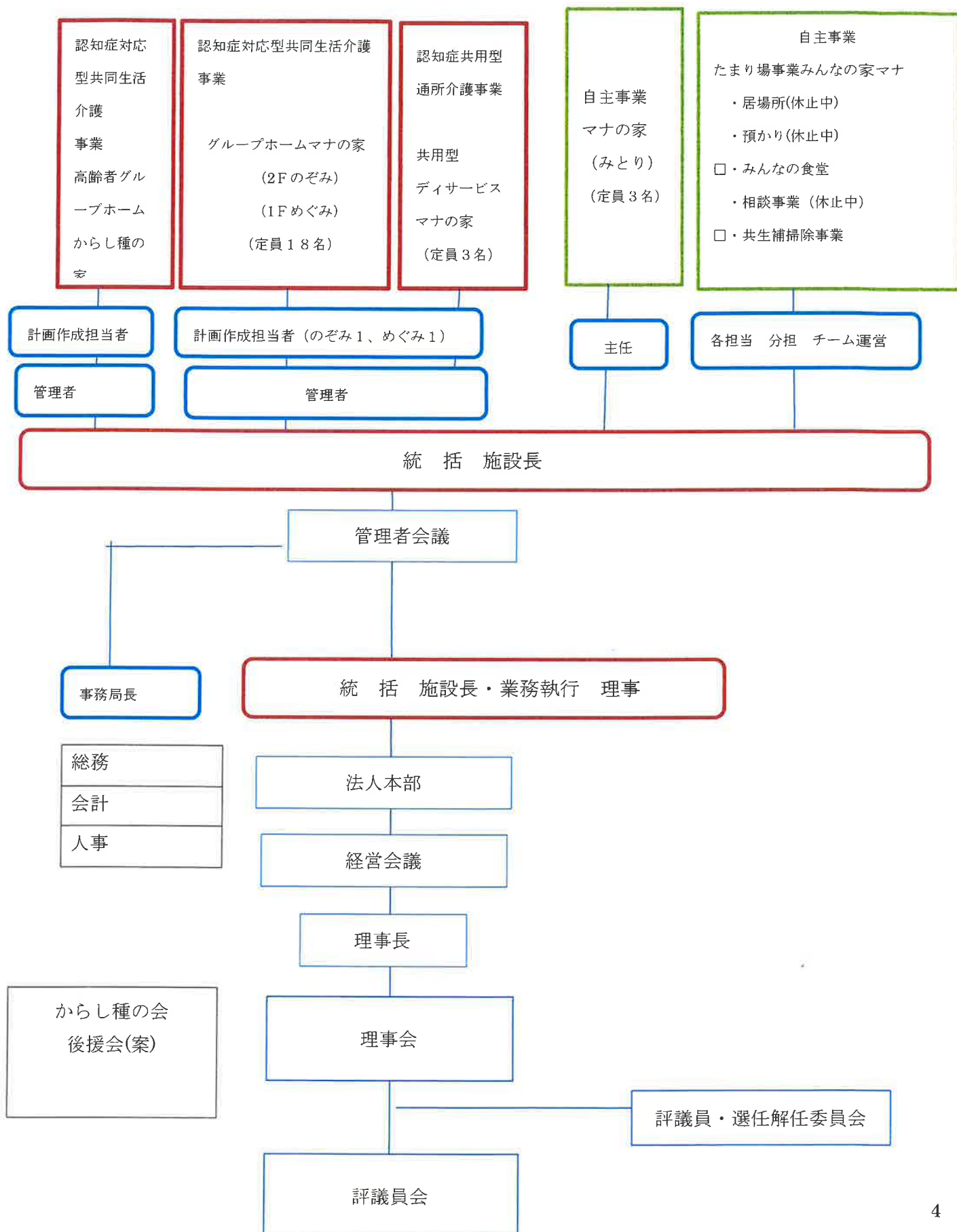
からし種の会	指定事業所 番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホーム からし種の家	9 名
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホーム マナの家	18 名
	1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型ディサービス マナの家	3 名
公益事業		法人の独自事業・自主事業 1. 看取りの家 2. 地域公益事業	○マナの家	3 名
			○みんなの食堂 第4月曜日 月1回お弁当配布 ○共生お掃除事業 毎週水曜日 9:30-11:30 就労支援事業所・気まま舎と連携	
活動中止中			○たまり場・みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00~15:00 ○預かり（上記開催時間内2名まで） ○相談事業	

4 組織図

2025年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7 名	6 名	2 名	3 名

6. 評議員会、理事会開催計画

評議員会	第 1 回	2025 年 6 月下旬	2024 年度会計決算報告、 2024 年度社会福祉充実計画、定款変更、その他
	第 回	2025 年 月 日	定款変更等 その他

理事会	第 1 回	2025 年 6 月 中旬	2024 年度事業報告書、2024 年度会計決算報告、定時評議員会招集等
	第 2 回	2025 年 12 月 中旬	補正予算、定款変更 その他
	第 3 回	2026 年 3 月 下旬	2026 年度 事業計画ならびに資金収支予算、その他

※その他、必要に応じて適時開催

7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	当初借入額	2025 年 3 月末 償還済額	2025 年度 償還額	2026 年 3 月末 借入残額	備考
福祉医療機構	63,200,000 円	50,130,000 円	3,492,000 円	9,578,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	27,866,000 円	4,452,000 円	52,682,000 円	増床マナの家
計	148,200,000 円	77,996,000 円	7,944,000 円	62,260,000 円	

8. 利用者目標 計画

事業所名	2024 年度見込	2025 年 1 月実績	2025 年度目標
からし種の家	98.00 %	100 %	98.00%
マナの家	98.00 %	80.00% のぞみ	95.00%
		88.50% めぐみ	
共用型ディサービス	40.00 %	0%	見直し・要検討
からし種・愛隣包括 支援事業	50.00 %	33.00% %	40.00%

社会福祉法人からし種の会 法人事業計画書

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

I 中期目標

私たちの社会福祉法人からし種の会は、前史（1998 年 4 月創設）よりキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことを目指して社会福祉事業と公益事業、地域事業等の場所を用意すべく事業を展開してきました。2028 年には創立 30 周年を迎えます。

人材確保・育成・定着に応じきれていない現状があり、この飢饉の課題やニーズへの対応が求められます。一方で、からし種の家の老朽化、役員の高齢化、後継者等も含めこれまで積み上げてきた福祉の専門性を活かした求められる質の高い事業の在り方を検討し、事業と財政の健全化にむけて中期整備計画を進めていきます。

中期計画事業方針（2025 年～2028 年）

1. 人材の確保・育成・定着に資する取組みを強化する。
2. 事業と財政の健全化を図る。
3. からし種の家の建物等のこれからのあり方を検討し、中期整備計画を作成する。
4. 創立 30 周年プロジェクト委員会を設立する。
5. キリストの愛と自由の精神にもとづき、事業を経営する。

各方針における対策

1. 人材育成・確保・定着と働きがいのある職場環境を整える。			
2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2025 年度法人事業計画に 詳細			創立 30 周年を 共に祝う。(定着)
人材の確保・育成 			

2. 事業と財政の健全化を図る。			
2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2025 年度法人事業計画に 詳細			

3. からし種の家建物のこれからあり方を検討し、中期整備計画を作成する。			
2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2025 年度法人事業計画に 詳細（準備）	グループホームの移 転の検討 新たな福祉サービス 提供に向けての検討		

4. 創立 30 周年プロジェクト委員会を設立する。			
2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
2025 年度法人事業計画に 詳細（準備）	記念事業の検討 ・ 30 年の歩み		創立 30 周年記念礼拝

5. キリストの愛と自由の精神にもとづき、事業を経営する。			
2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
後継者の課題	新組織体制づくり		
法人の使命 継続			創立 30 周年
家族礼拝 継続			記念礼拝

Ⅱ 2025 年度 法人事業計画

< 中期整備計画（1 年目） >

※1. 人材の確保・育成・定着に資する取組みを強化する。

※2. 事業と財政の健全化を図る。

3. からし種の家建物のこれからあり方を検討し、中期整備計画を作成する。

4. 創立 30 周年プロジェクト委員会を設立する。

5. キリストの愛と自由の精神にもとづき、事業を経営する。

< 重点目標 >

※1. 人材の確保・育成・定着に資する取組みを強化する。

※2. 事業と財政の健全化を図る。

3. 地域貢献活動の充実

＜重点課題への取り組み＞

※ 1. 人材の育成・確保・定着に資する取組み

- ① 管理者等の確保・育成・業務等の改善に努める。
 - ・ 管理者会議の毎月開催し、各事業所課題を共有、困難な対応課題等については、全事業所相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
- ② 介護福祉士専門職の確保と育成
 - ・ 在職者の資格取得にむけたゆるやかな勉強会をはじめ、資格取得に必要な諸手続き等の支援を進める。
- ③ よりよい人材を確保できるように、計画的な職員採用活動に取り組む
 - ・ 大学・専門学校、県福祉人材センター等との連携強化し、計画的な採用活動を実施する。
- ④ 労働環境整備および ICT 等導入による業務省力化に取り組む。
 - ・ フルタイムで働ける正職員の確保、各事業所間の差が無いよう適正な人員配置とする。
 - ・ 給与、休日数の改善を図る。
 - ・ 利用者の重度化、職場の人間関係等によって過度なストレスを抱える職員が増えてきていることから、メンタルヘルスチェックや研修、健康相談の実施等を通じて職場環境を整備する。

※ 2. 事業と財政基盤の強化の取組み

- ① 財務基盤の強化
 - ・ ここ数年入居者の年齢層が高くかつ心疾患やがん等を抱える高齢者が増えてきており、医療的対応に追われることが多くなっている。これまで以上に医療との連携、早めの対応、ご本人の望む暮らしの意向を尊重し継続支援を行っていく。
 - ・ コスト管理を適切に実施する。
- ② 専門家を含めた経営会議の活用
 - ・ 経営会議により、法人の事業状況を把握・分析し、財政運営を適正に実行する。
- ③ 事業の改善
 - ・ 稼働率の維持向上(サービスを必要とするより多くの高齢者に利用していただく)
 - ・ 安心して長く働き続けることのできる労働環境・職場づくり
- ④ サービスの質
 - ・ 利用者、家族、地域の声を聴き、その意向を尊重し、質の高いサービス提供を進める。
 - ・ 利用者本人が自分できる工夫等を個々の技術面のみならずチームとしてのサービス提供に話し合いながら体制を確立する。また、認知症ケアの研修を実施し専門性を高める。
- ⑤ 組織体制の強化
 - ・ 組織体制強化・準備態勢にむけて人材を配置する。

3. 地域貢献活動の充実

- ① 地域に協力し、地域に開かれた、からし種・愛隣包括支援事業の継続・改善
 - ・ みんなの食堂、気まま舎等の事業の継続・改善
 - ・ ご近所・自治会、地域市民やボランティア団体、関係機関等と連携協力し、地域福祉の向上に努める。
- ② 公益事業としての自主事業のサービスの質を高める。

2025年度 法人事務局事業計画(案)

<法人事務局 具体策>

- ①事務局としての業務内容を理解し、より専門性を高める。
- ②事務局内での連携をはかり、各業務が適切かつ迅速に行われるように努める。
- ③事務職内での定期ミーティングにより、業務予定や計画、他社への連絡等を確認し合い、情報共有を確実にする。
- ④日々、行政機関等からのメールを確認し、各事業の管理者へ連絡すると共に必要書類を作成し提出する。
- ⑤研修等の案内があった場合、各事業の管理者及び受講者へ通知する。
- ⑥事務局業務が日々増えていることから、書類の作成提出に関し、より迅速かつ効率化を図る為、電子申請化を実施する。
- ⑦書類の整理・保存に関し、毎年度の書類の保存量が多く、保存場所の確保が難しくなっていることから、電子帳簿での保存も含め、整備する。
- ⑧新人職員の育成

<総務>

- ①理事会及び評議員会等が円滑に行われるように役員と連絡、相談を重ねる。
- ②ワーク社労士事務所との顧問契約により、労務に関し職員が働きやすい労働条件になるよう諸規程等について協議する。
- ③助成金等の申請がある場合、社会保険労務士と相談を重ね、適正な書類作成と申請に努める。
- ④人事評価制度については、人事評価規程に基づき全職員に実施していく。

<会計>

- ① 法人内での会計処理について、複数の職員でのダブルチェックを行い、日々の収支や金額等の確認、および補助簿との残高確認を行う。
- ② さくら総合会計による隔月の巡回監査により、会計の適正化を図る。
- ③さくら総合会計や、理事との経営会議を毎月開催し、経営状況を確認し合い、年度末の収支見込や社会福祉充実計画の運用について、協議していく。

<人 事>

- ①職員の人材確保の為の補佐体制をとると共に、新人職員の採用にあたり、各事業の管理者と連携し育成指導していく。
- ②職員の求人について、求人サイトや専門業者主催の企業説明会等に参加し、採用につながるように努める。

<その他>

- ① 法人のネット通信について、専門業者による保守契約によりネット環境を整備する。
- ② 共有フォルダー等についても、データ管理のより効率化・セキュリティーを強化する。
- ③ 法人内のパソコンを Windows11 へバージョンアップする。
- ④ 職員への迅速な連絡手段としてラインを活用し、用途ごとにグループ分けを行い、確実に伝わるように整備する。
- ⑤ 給与明細書や源泉徴収票に関し、電子化により各職員へデータ伝送をする方向へ切り替えていく。その際には、職員への説明会等を開催し、職員が対応できるように期間を設け進めていく。
- ⑥ 現場での日々の記録やケアマネジャーの資料作成等において、現在使用のソフトが更新期間を迎えるため、新たなソフトについて検討する。

高齢者グループホームからし種の家 2025 年度事業計画（案）

基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

- 1、ご利用者の心身の症状の変化を受け止め、一人一人に寄り添った細やかなケアを行う。
- 2、外出支援やホーム内以外の楽しみごとを増やしていく。
- 3、各委員会の主体的な運営と役割の向上。
- 4、緊急時の対応の周知の徹底

行動計画

1 <具体策>

- ・昨年度利用者の方々の心身の変化多くみられ対応困難な状況みられた。職員一人一人が変化に向き合い適切なケアができるよう取り組んでいきたい。そのために職員間で情報共有を徹底し困難事例に対して声かけの仕方から関わり方等検討していきたい。成功体験を重ねることで職員が自信を持ち利用者の方々に向き合っていける体制を作る。
- ・個人が抱えている悩みを職員間で話やすい雰囲気作りを大切にし風通しの良い職場を維持していく。

2 <具体策>

- ・外出計画を考え勤務調整と職員配置を整理しお出かけデー（月 1 回の外出支援）を維持していく。
- ・天候や利用者の心身の状態に応じて車での外出が難しい時はホーム周辺の散歩に切り替える等工夫し季節を感じていただき、気分転換を図っていく。

3＜具体策＞

- ・ マナの家職員と合同で特にリスクマネジメント、身体拘束廃止、虐待防止、感染対策の各委員会活動を各指針に沿って責任を持って行う。
- ・ 委員会ごとに研修の実施やマニュアルの見直しなど日々のケアの向上に活かせる取り組みを行う。
- ・ 職員異動等で役割が変更になり委員会活動が停止しないよう引継ぎ、いつでも前任に相談できる仕組みを作る。

4＜具体策＞

- ・ BCP の研修を含め職員一人一人が緊急時の対応を理解していく。
- ・ 避難訓練や日々の申し送り、職員会議を通して災害対策について職員間で話し合い必要時緊急時の対策を見直し現実的なマニュアルを作る。
- ・ 災害用備蓄品の管理の担当を決め、使用期限や在庫の把握をしていく。

2025年度年間行事計画

高齢者グループホームからし種の家

	行事	地域
4月	お花見(桜)	
5月	しょうぶ湯、ドライブ	
6月	初夏のお楽しみ会	
7月	防災・避難訓練(消防署・地域の方々の参加による)	
8月	からし種の家夏祭り	
9月	敬老の日お祝い	一斉清掃
10月	ハロウィンお楽しみ会	敬老会
11月	からし種の会福祉バザー(作品、飾り作り含む)	作品展
12月	からし種の家クリスマスお楽しみ会、ゆず湯、大掃除、 合同クリスマス会	
1月	お正月	
2月	節分豆まき、避難訓練(ホーム内)	
3月	ひなまつり、彼岸のおはぎ作り	

* 誕生会は当日に実施

グループホームマナの家 2025年度事業計画（案）

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. その人の持てる力を発揮して頂く。
2. 地域と関わりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

1. 利用者ご本人の気持ちと持てる力が尊重される暮らしを支援する。
2. 地域との新しいつながり方を作る。
3. 各委員が委員会の活動を理解し、意欲的に取り組めるようにする。
5. ユニット間の交流活動を行う。

行動計画

1. <具体策>

- ① 介護の経験の浅い職員が多いので、認知症を理解してもらう所から始める。その中で利用者と生活を共にしながら信頼関係を築いていき、利用者に寄り添った介護につなげる。
- ② チームで統一したケアができるような話し合いの場の確保やその場にいなかったときの確認の方法を工夫していく。
- ③ 生活の場面では、食器拭きなどのお手伝いやTV体操、おりがみ、塗り絵など利用者ができることを考え、一緒に行う。利用者が意欲的かつ楽しんでいるかなど確認しながら行う。
- ④ 毎月の行事計画を作り、車での外出支援など季節を感じられるような支援をしていく。

2. <具体策>

- ① 地域の方たちの高齢化が進んでいる。毎年恒例の11月の地域との作品展&バザーはこれまでの繋がりを大事にしながら、新しい方たちに広く参加を呼びかけ、新たな関係作りをしていく。職員にもバザーの歴史を理解してもらい、当日は利用者と一緒に

緒に参加し、地域との交流を体験する。

- ②運営推進委員会で、利用者のホームでの活動を報告し、委員の方と地域とのつながり方について検討していく
- ③感染症対策を考えながら、新たなボランティア活動の形を考えていく。

3. <具体策>

- ①委員会では、委員がそれぞれの委員会の内容を理解し、意欲的に参加できるようにしていく。
- ②職員が自分の得意なことをいかせるような役割を用意する。

4. <具体策>

- ①時には両ユニットで協力しながら、行事予定をたてて行事をおこなう。
- ②利用者と一緒にもう一つのユニットに行き、話をしたり、いつもと違う景色を見たりして気分転換をはかりながら、交流を楽しむ。
- ③協力して行える業務がないか検討していく。

2025 年度 年間行事（案）

	行事内容	担当
4 月	お花見（桜以外も） イースター	
5 月	畑作り 庭作り	
6 月	6／16 和菓子の日 外食	
7 月	七夕まつり	
8 月	マナの家 夏祭り	
9 月	敬老会 彼岸のおはぎ作り	
10 月	ハロウィン	
11 月	からし種バザー お茶会	
12 月	合同クリスマス会	
1 月	お正月新年会	
2 月	節分の豆まき	
3 月	ひな祭り お彼岸のおはぎ作り	

○お誕生会はそれぞれの誕生月に行う。

○車でのドライブや買い物など、必要に応じて行っていく。

共用型デイサービスマナの家 2025年度事業計画（案）

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

重点目標

1. ご利用の回数の中でも満足感を得て頂けるようグループホームのご利用者との交流や作業等の楽しみを増やす。
2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。
3. 認知症対応のグループホームの専門性を活かしたケアで、認知症を抱えても安心して過ごせるサポートを行う。

行動計画

1. ご利用の回数の中でも満足感を得て頂けるようグループホームのご利用者との交流や作業等の楽しみを増やす。

<具体策>

- ・利用日を考慮して行事などを計画し、ホームのご利用者と共に楽しめる機会を設ける。
- ・職員間で情報を共有し、ご利用者の活動や楽しみの幅を広げる。

2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。

<具体策>

・全職員がニーズや支援内容を把握する（情報の確認）。連絡帳に行っていたこと、様子、心身の変化への気づきを意識して記載する。（詳細な情報提供）。日常の記録を元に月一回の担当ケアマネジャーへのモニタリングの作成を行う。支援内容の変更が必要な場合などもあるため、日頃から心身の状態の変化に気づけるよう視点を持つ。

- ・ご家族の悩みや不安などもケアマネジャーや他の事業所と共有し、連携を図る。

3. 認知症対応のグループホームの専門性を活かしたケアで、認知症を抱えても安心して過ごせるサポートを行う。

<具体策>

- ・ご利用者の抱える症状に合わせた対応を模索し、不安や混乱の軽減を図る。
- ・サービス担当者会議などで、認知症ケアについて伝え、ご利用者の理解につなげる。

4. 今現在、共用型デイサービスの利用はないが、利用申し込みがあった場合には、職員制を整え対応していくと共に、健全な経営を目指す。

からし種・愛隣包括的支援事業

地域福祉事業 マナの家・みんなの家マナ 2025 年度事業計画（案）

基本理念

- ・親子が地域で安心して子育て、子育てができる。
- ・障害があっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
- ・地域で支えあえ、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し、交流を図る。
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、安心して預かることができる。

重点目標

1. 自主事業の発展と拡大のため、総合的に管理運営できる組織編成を行う。
2. 公共事業としての各事業の連携、スタッフ間の情報の共有化を図る。
3. 新型コロナウイルス等の感染防止対策の徹底化を図る。
4. コロナにより一時中止されていた。地域住民との新たな出会いとつながりについて、感染予防の創意工夫を図りながら再度継続できるように取り組む。

1. マナの家(看取り支援)

- ① その人らしく最後まで暮らすことができるよう、本人、家族の思いをしっかりと受け止めることに努める。
- ② 新型コロナウイルスの感染防止策の徹底を図りながら、戸外への散歩やドライブなどの外出を試みるなど、活動の場を広げていく。
- ③ 入居希望者があった時及び入居者に変化があった時にスタッフ会議を開催し、入居者の状態に合った安心、安全な介護が、職員全員がタイムリーにできるように努める。
- ④ 看取り介護の充実を図るため、地域医療並びに介護関係機関との情報交換を密にしながら、本人・ご家族の意向に添える安らかな自然死を支援。

しかしながら、看取り希望の入居希望者が少なくなっており、現在「マナの家」を利用している方は1名（看取りでない）である。今後入居希望者があった場合には、職員体制を整え自主事業としての健全な経営を目指す。

2025 年度 たまり場・みんなの食堂年間計画（案）

月	たまり場（月曜）	みんなの食堂	イベント等
4	未定	28 夕食	
5		26 夕食	
6		23 夕食	
7		28 夕食	
8		25 夕食	
9		22 夕食	
10		27 夕食	
11			3 合同バザー・販売
12		22 夕食（クリスマス食堂）	クリスマスプレゼント
1		26 夕食	
2		23 夕食	
3		23 夕食	

※コロナウイルス感染状況により変更有

みんなの食堂開催

計 11 回（夕食弁当配布）

・子ども食堂ネットワーク、情報交換会等随時参加